

きずな



我孫子市少年センター便り 第176号

我孫子市少年指導員連絡協議会 会長 深津祥子

我孫子市少年センター センター長 齊藤絵里香

電話 7185-1367 FAX 7182-5867

少年指導員のつぶやき



今年度は、児童・生徒の下校時間に合わせて、例年よりもパトロールの時間を早く設定しました。すると、下校中、友達との会話に夢中になっていたり、横に広がっていたりと多くの改善点に気づくことができました。

我孫子駅近くの商業施設周辺は明るいところが多いのですが、久寺家中学校区では、森や、街灯が少ない危険な道もたくさんあります。見回りを通して自分の足で“確認し、知る”の大切さを改めて感じました。

子どもたちの安全を守るために、地域の方々がパトロールに参加してくれていることに感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、元気にあいさつをしてくれる子どもたちの笑顔を地域の皆様と協力して守っていききたいと思います。

久寺家中学校区
少年指導員 川村 剛

少年指導員として活動する中で、子どもたちが、地域や保護者の方々に守られながら、学校生活を送っていることを改めて知ることができ、自分には何ができるかを考えるようになりました。

パトロールを行っている中で、湖北台中学校区特有の入り組んだ団地等を丁寧に説明してくれる指導員の方々や「ご苦労様です。」と声をかけてくれる方々にお会いし、日々、湖北台中区の温かさや学校と地域のつながりを感じています。

現在、湖北台地区は人通りが少なく、街灯の明かりが届かない場所も多くあります。このような場所は、大人でさえ歩くのが怖いと感じます。これからもパトロールを通して地域の方と協力し、子どもたちの安全・安心を守っていききたいと思います。

湖北台中学校区
少年指導員 齊藤 智礼

青少年補導（委）員連絡協議会 東葛飾ブロック研修会参加報告

令和3年12月13日（月）流山市生涯学習センターで行われた東葛飾ブロック研修会に参加しました。流山市青少年指導センター所長の迫口宏美先生の講演では、子どもたちを取り巻くインターネット社会、新型コロナウイルス感染症拡大で大きく前進したICT活用や情報社会についてのお話をいただきました。特に、情報モラル教育や情報端末のペアレンタルコントロール（次頁参照）などについては、子どもたちを守るうえで必要なことだと感じました。また、各市との情報交換では、子どもたちを取り巻く環境の変化に応じたパトロールの在り方について考えさせられました。

（布佐中区 小竹）

ペアレンタルコントロールについて

参考：内閣府作成リーフレット

ペアレンタルコントロールは、「親のコントロール」を意味し、子どものスマートフォンやタブレット、ゲーム機の利用状況を、保護者が把握したり、安全管理を行ったりする仕組みです。プレイ時間の制限・調整、課金等の管理、ネットワーク利用の制限、年齢区分（レーティング）のチェック等を行うことが可能です。例えば、有害な情報やうっかりアクセスによるトラブルから子どもを守る「フィルタリングサービス」があります。これらは、端末購入時に販売店等で設定することをお勧めします。

もうすぐ卒業・進学・新入学の時期となります。初めてスマホを持つお子さんもいると思います。その前に、ご家庭で安全・安心な利用について話し合ってみませんか。

（湖北台中区 小森）

代表的なペアレンタルコントロール（時間管理）の設定方法

スクリーンタイム
(iOS12以上)



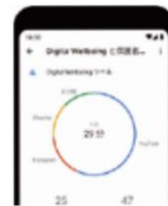
スクリーンタイムの
設定方法
(動画)



デジタル ウェルビーイング
Digital Wellbeing
(Android10以上)



Digital
Wellbeing
(紹介ページ)



AndroidはGoogle LLCの商標です。

子どもたちの悩みに寄り添うためには・・・

参考：子供に伝えたい自殺予防
(文部科学省)等

情報技術の進歩により、多くの人たちが手軽にインターネット等を利用しています。子どもたちも例外ではありません。それに伴い、SNS等を悪用して子どもたちが抱える不安や悩みに付け込み、犯罪へとつながるような事件が相次いでいます。また、近年、若者の自殺者が増加しており、心配されます。子どもたちを守るためには、不安や悩みを相談したり、SOSを発信したりできる環境作りが大切です。

〈保護者の皆様へ〉

- 何気ない場面での、子どもたちの言葉使い・表情・顔色などを観察してみると気持ちの変化や成長を知ることができるかもしれません。
- 意識的に会話の機会を設けることをルーティーン化してみましょう。思春期を迎える時期になると、今まで通りとはいかないかもしれませんが、そばにいたり話を聴くことだけで、安心感を与えられます。あきらめずに向き合ってみましょう。
- 学校等の授業参観や保護者会などに参加して、家の外での様子に関心を持ってみましょう。
- 必要に応じて、関係機関へ相談することも可能です。



「聴き上手」
になってみような～

（久寺家中区 若林）

【編集後記】新型コロナウイルスが流行して2年が過ぎ、生活様式の変化にストレスを感じ、先の見えない不安を抱える日々が続いています。心のSOSサインに気づくには日頃のコミュニケーションが大切です。自宅時間が増えた今、パソコンや携帯と向かい合うのではなく、家族と向き合う時間を増やしてみたいはかがででしょうか。1日も早く笑顔溢れる日常に戻れますように…。

（白山中区 椎名）